

提 供 日 2025/12/4

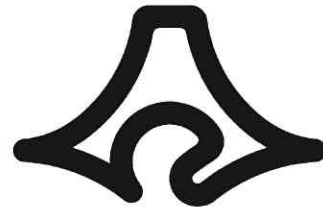
タイトル 農林業経営体数の減少が続く中、農業経営体の
法人経営体数は増加

2025 年農林業センサス調査結果（速報）

担 当 企画部統計活用課

連 絡 先 商工・経済班

TEL 054-221-2245



2025 年農林業センサス（令和 7 年 2 月 1 日基準日）のうち、農林業経営体調査について、11 月 28 日に農林水産省が公表した集計結果に基づき、静岡県分の結果を取りまとめた。

なお、今回の国公表数値は概数値であり、確定値は令和 8 年 3 月以降に公表予定。

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造、就業構造及び農山村等の農林業をとりまく実態を明らかにするとともに、我が国の農林行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的に、統計法に基づく基幹統計調査として 5 年ごとに実施している。

結果の概要

1 農林業経営体の状況

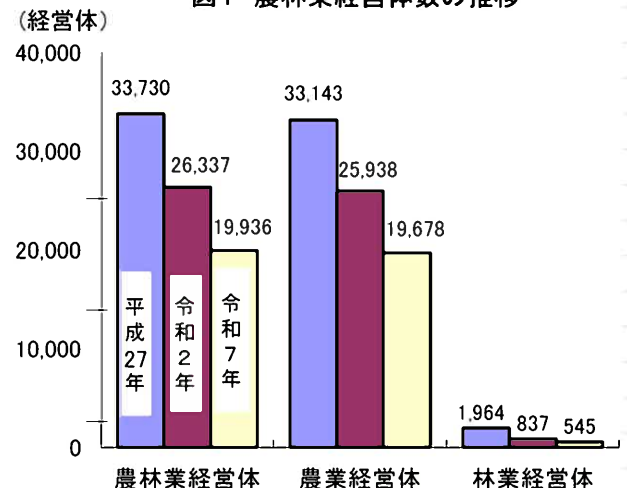
農林業経営体数は 1 万 9,936 経営体で、5 年前（令和 2 年調査。以下同じ。）に比べて 24.3% 減少した。

このうち、農業経営体数は 1 万 9,678 経営体、林業経営体数は 545 経営体で、5 年前に比べて、それぞれ 24.1%、34.9% 減少した。

注 1：「農林業経営体」とは、農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が一定規模以上の事業を行う者をいう。

注 2：農業経営と林業経営を合わせて営んでいる経営体があるため、農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しない。

図 1 農林業経営体数の推移

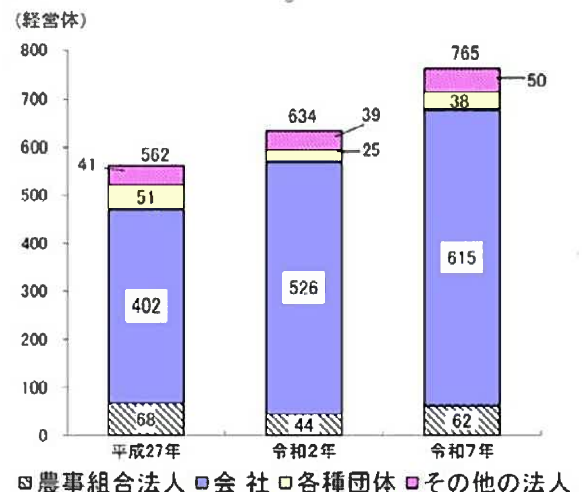


2 組織形態別の状況（農業経営体）

農業経営体のうち、法人経営体数は 765 経営体で、5 年前に比べて 20.7% 増加した。

法人経営体の内訳をみると、会社が 615 経営体、農事組合法人が 62 経営体で、5 年前に比べて、会社においては 16.9%、農事組合法人においては 40.9% 増加した。

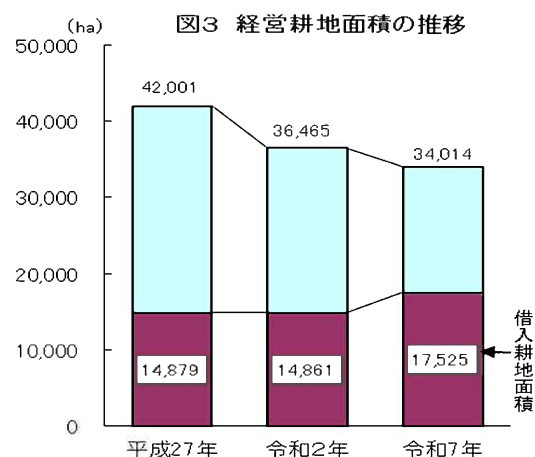
図 2 法人化している農業経営体数



3 経営耕地の状況（農業経営体）

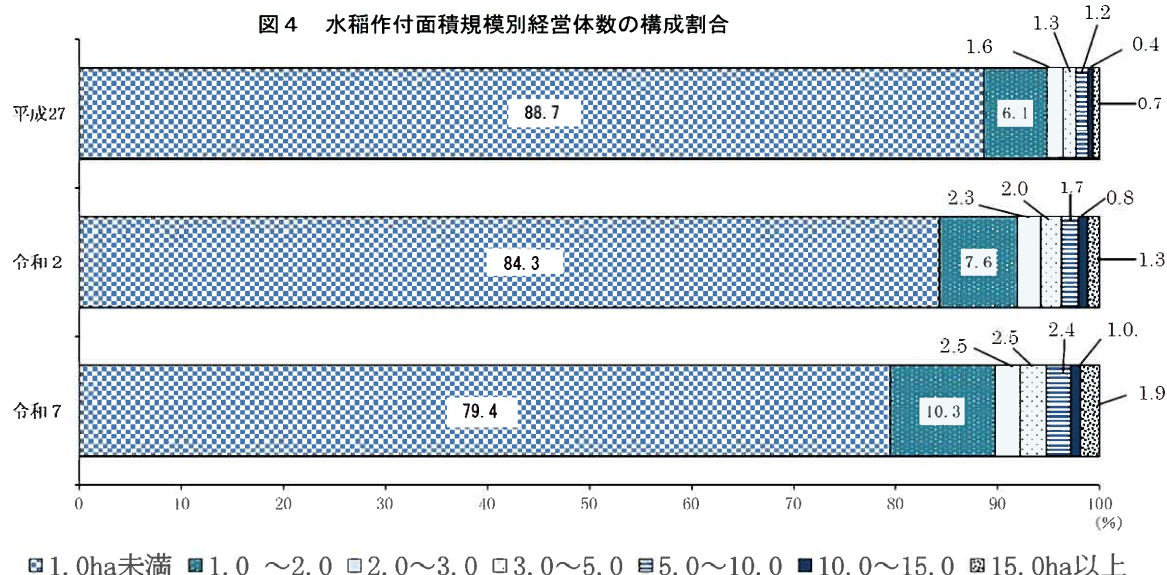
農業経営体の経営耕地総面積は3万4,014haで、5年前に比べて6.7%減少した。

このうち、借入耕地面積は1万7,525haで、5年前に比べて17.9%増加した。



4 水稻作付面積規模別の経営体数

販売目的で水稻を作付けした農業経営体数は7千377経営体数で、5年前に比べ23.8%減少した。作付面積規模別にみると、1.0ha未満の階層で減少したが、1.0ha以上の各階層で増加した。特に1.0～2.0haの階層で2.7ポイント増加した。



<参考> 全国の状況（静岡県的位置）

全国における静岡県の農林業経営体数は全国第19位（5年前：第20位）、農業経営体数は全国第19位（5年前：第20位）、林業経営体数は全国第13位（5年前：第16位）農業経営体の経営耕地総面積は全国第26位（5年前：第26位）となっている。

表1 農林業経営体及び経営耕地総面積の全国順位

農林業経営体数			農業経営体			林業経営体			経営耕地総面積（農業経営体）		
順位	都道府県	（経営体）	順位	都道府県	（経営体）	順位	都道府県	（経営体）	順位	都道府県	（ha）
	全国	839,161		全国	828,405		全国	22,831		全国	3,047,455
1	長野	35,133	1	長野	34,686	1	北海道	3,018	1	北海道	978,025
2	新潟	33,888	2	新潟	33,702	2	宮崎	1,543	2	新潟	135,718
3	茨城	33,472	3	茨城	33,386	3	岩手	1,339	3	秋田	110,293
4	福島	31,473	4	福島	31,299	4	大分	1,046	4	茨城	104,591
5	北海道	31,071	5	兵庫	30,419	5	岐阜	976	5	岩手	104,143
19	静岡	19,936	19	静岡	19,678	13	静岡	545	26	静岡	34,014

※詳しくは「統計センターしずおか」に後日掲載します。

(<https://toukei.pref.shizuoka.jp/chosa/04-010/index.html>)